

JAPA 貢献展

～美術文化の国際振興に向けて～

JAPA Fundraising Exhibition

—For the International Promotion of Arts and Culture

JAPA 貢献展

～美術文化の国際振興に向けて～

JAPA Fundraising Exhibition

—For the International Promotion of Arts and Culture

会期：2024年3月6日(水)～3月11日(月)[最終日午後5時終了]

会場：日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊

主催：公益財団法人 美術文化振興協会(JAPA)有志

ギャラリートーク：2024年3月6日(水)12時30分～13時30分

モデレーター：近藤誠一(JAPA会長)

JAPA貢献展 ～美術文化の国際振興に向けて～

ごあいさつ

公益財団法人 美術文化振興協会(JAPA : The Japan Association for the Promotion of Arts)は、1977年夏に福田赳夫総理大臣がASEAN諸国を歴訪し、最終訪問地のマニラで「心と心の触れあい」に根ざす東南アジア諸国の真の友人としての関係構築を打ち出した歴史的なスピーチ「福田ドクトリン」に共鳴したことに端を発し設立されました。ASEAN諸国との人間、文化、芸術の交流を通じた関係強化を目指す美術文化振興協会の設立が発起され、その創設が成されました。

爾来、JAPAは広く美術家の交流を促進し、日本文化の伝統を基盤とした創作活動を奨励するとともに、諸外国との美術文化交流を図ることにより、日本及び諸外国の美術文化の向上と発展に寄与することを目的として活動して参りました。

JAPAは1981年に財団法人 美術文化振興協会として発足し、顕彰事業である宮本三郎記念賞、(財)美術文化振興協会賞、右卿記念賞を創設。国際芸術文化交流として、ハーバード大学(アメリカ)やライデン大学(オランダ)への美術作家、美術史家の派遣による日本の美術文化の紹介、講演、実技の履修を行う「ジャパニーズ・アート・プログラム」(ライデン大学への派遣は継続)、ASEAN諸国との文化交流としてタイへの調査団派遣等を実施してきました。

そして、2014年に内閣府から公益財団法人の認定を受けて新たな一步を踏み出しました。2019年にはJAPA設立の発端であるASEAN諸国との文化交流を推進すべく、Queen Sirikit Institute (タイ)より代表団を日本に招聘し、「《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸」と題した文化交流を実現しました。さらに同年、美術作家の活動を奨励する新たな顕彰事業「JAPA天心賞」を創設しました。

この度は、JAPAメンバーの有志がJAPAのこれまでの活動をご紹介するとともにその使命を継承する願いにより、JAPAの活動継続に貢献する目的をもって、心を寄せた作品をお届けすることとさせて頂きました。それぞれの心の景に触れてくださいましたら幸甚でございます。

日本はもとより国際的な美術文化の振興に貢献するJAPAの活動にご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本展の収益の一部はJAPAの活動に活かさせて頂く所存でございます。

公益財団法人 美術文化振興協会(JAPA)有志

公益財団法人 美術文化振興協会
The Japan Association for the Promotion of Arts (JAPA)

—概要—

●目的

JAPAは、広く美術家の交流を促進し、日本文化の伝統を基盤とした創作活動を奨励するとともに、諸外国との美術文化交流を図り、もって我が国及び諸外国の美術文化の向上と発展に寄与することを目的とする。

●事業

前項の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 美術文化に関する国際交流
2. 美術文化に関する研究会・講演会等の開催
3. 美術文化に関する展覧会の開催
4. 美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰
5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●沿革

- 1981年 文部大臣の認可を受けて設立
- 1981年 宮本三郎記念賞創設
洋画家・宮本三郎の業績を記念し、優れた具象洋画作品を選考、賞の授与及び受賞作家の回顧展を開催
- 1982年 (財)美術文化振興協会賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
- 1982年 ハーバード大学(アメリカ)への美術家派遣事業開始
- 1992年 右卿記念賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
- 2005年 ライデン大学(オランダ)への美術家派遣事業「ジャパニーズ・アート・プログラム」開始
(継続 2023年 第14回)
(木版画、書、墨絵、陶芸、日本画、雅楽、尺八、箔・切金・砂子講座開催)
- 2012年 オランダでの公開講座「ジャパニーズ・アート・セミナー」開始
(日本博物館シーボルトハウス 継続 2023年 第9回)
- 2014年 内閣府から公益財団法人への移行認定を受ける
- 2019年 顕彰事業「JAPA天心賞」を新設 (継続 2022年 第2回)
日本アセアン文化交流事業(工芸作品・技術を通じての国際文化交流)
タイ王国Queen Sirikit InstituteとJAPAの共同開催プログラム
「《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸」実施(東京藝術大学正木記念館)

- ウェブサイト <https://www.finearts.or.jp>

公益財団法人 美術文化振興協会(JAPA)

名誉会長 小和田 恆

会 長 近藤 誠一

理 事 長 大津 英敏

常務理事 関 出
稲葉 政満

理 事 奥谷 博
絹谷 幸二
滝沢 具幸
宮田 亮平
中島 千波
高木 聖雨
栗田 和久
加賀谷早苗

監 事 高橋 幸彦
乙丸 哲延

評 議 員 平松 礼二
北條 正庸
斉藤 典彦
荒井 経
野口 玲一
内村 宏

JAPA 貢献展 ～美術文化の国際振興に向けて～

JAPA Fundraising Exhibition

—For the International Promotion of Arts and Culture

賛助出品者(五十音順)

荒井 経

大津 英敏

小川 東洲

奥谷 博

乙丸 哲延

加賀谷早苗

斉藤 典彦

関 出

高木 聖雨

高橋 幸彦

滝沢 具幸

中島 千波

平松 礼二

北條 正庸

宮田 亮平

荒井 経 ARAI KEI

近年、「草虫図」というテーマに取り組んでいる。「草虫図」は古くから広く東アジア地域で吉祥図として描かれてきた。社会の安寧を願う心は昔も今も変わらない。

- 1967 栃木県宇都宮生まれ
筑波大学芸術専門学群 日本画 卒業、同大学院修士課程修了
東京藝術大学大学院保存修復日本画修了(サロン・ド・プランタン賞)
東京藝術大学大学院博士後期課程修了、博士(文化財)
- 2000 VOCA 現代美術の展望(同'05)
- 2006 損保ジャパン美術財団選抜奨励展
- 2015 日経日本画大賞展(同'18)
- 2023 シン・ジャパニーズ・ペインティング展(ポーラ美術館)
他、国内外での個展、美術館企画展多数
- 現在 東京藝術大学大学院 保存修復日本画 教授



草虫図 牡丹(と)

45×22 cm 岩絵具・水彩・墨・和紙/日本画



黒牡丹(一)

91×48.5 cm 岩絵具・水彩・墨・和紙／日本画

大津 英敏 OTSU EIBIN

1980年前後、家族でパリに住み、アトリエが
セーヌ川に浮かぶシテ島のノートルダム寺院の
近くにあつて、今も思い出深く懐かしい。



南フランスの海
5号 キャンバス/油彩

- 1943 熊本市生まれ、少年時代を福岡県大牟田市で過ごす
- 1969 東京藝術大学大学院を修了(山口薫教室)
- 1973 独立美術協会会員
- 1979 家族と共に渡仏(〜'81)
- 1983 第26回安井賞展で安井賞受賞
- 1989 多摩美術大学教授就任(〜'14)
- 1993 第11回宮本三郎記念賞受賞
- 2005 第28回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞
- 2007 第63回日本藝術院賞受賞・日本藝術院会員就任
- 現在 日本藝術院会員 公益財団法人 美術文化振興協会理事長
独立美術協会会員 多摩美術大学名誉教授



パリの宙を舞う

30号 キャンバス/油彩

小川 東洲 OGAWA TOSHU

菅原道真の漢詩

心に期す

心に当て測って思うこと

故小川東洲（1928-2023）は、JAPA創立以来の理事の一人として50年にわたってJAPAの活動に貢献して来た。JAPAがハーヴァード大学、ライデン大学との間で国際貢献事業として行ってきた「日本伝統芸術講座」教授としても数回の参加歴を持つ。

書家としての小川東洲は、終生「孤高の芸術家」であった。明治の書聖と呼ばれた比田井天来に私淑、弱冠40歳で芸術選奨文部大臣新人賞を受賞（1978）して以来、数ある書道会に属することなく自らの途に精進して到達した作風は日本書道の一つの典型を示すものとして、代表作「魔性月光」は大英博物館に収納されている。

出品作は、東洲中期の宋画の没骨技法の影響が感じられる作品である。象形文字にヒントをえたとされる書と墨絵の間を漂う同氏晩年の作風とは異なる。
（文責 小和田 恆）



心似貪霜竹

奥谷 博 OKUTANI HIROSHI

絵を好きになってもらう「子供 夢・アート・アカデミー」で
沖縄に出かけているうち、作品「舞」は生まれた。
つばき咲く頃は庭が活気づいて来て好きな季節だ。



長寿花開花

4号 キャンバス／油彩

- 1934 高知県宿毛市生まれ
- 1963 東京藝術大学美術学部油画専攻科修了
- 1967 第1回文部省芸術家在外研修員としてパリ滞在
- 1982 奥谷博展—静けさと神秘の詩(神奈川県立近代美術館)
- 1983 芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1984 宮本三郎記念賞受賞 受賞記念展
- 1995 安田火災東郷青児美術館大賞受賞 受賞記念展
- 1996 日本藝術院賞受賞 日本藝術院会員就任
- 2007 世界遺産条約採択35周年記念 奥谷博展(パリ・ユネスコ本部)
文化功労者顕彰
- 2017 文化勲章受章
- 2022 奥谷博—無窮へ(神奈川県立近代美術館葉山、高知県立美術館)
- 2023 奥谷博記念室開設(茨城県笠間日動美術館日本館5階)



舞

25号 キャンバス/油彩

乙丸 哲延 OTOMARU TETSUNOBU

作品1 「ワインの丘」 ブルゴーニュの村モンテリ

作品2 「レザンドリー」 パリからセヌ川を下り1時間ほど
近くにはモネのジベルニーがある



ワインの丘
6号 キャンバス/油彩

- 1948 東京都生まれ
- 1973 東京藝術大学美術学部卒業
フランス給費留学生として渡仏(〜'76)
国立ニース・アールデコラチフ入学
- 1974 国立パリ美術学校入学
- 1982 独立展50回記念賞
- 1986 独立美術協会会員
- 1995 個展 日本橋三越本店(同'99・'02・'05・'08・'11)
- 2010 個展 日本橋高島屋(同'16・'19・'22)
その他グループ展多数



レザンドリー

30号 キャンパス/油彩

加賀谷 早苗 KAGAYA SANAE

本展ではアセアンの人々と真の友情を築く理想、福田ドクトリンの「心と心の触れ合い」に共鳴したJAPA設立の端緒に思いを馳せ、「heart to heart」をテーマに、舞踏の舞台で培った姿から、湿潤な日本・アセアンひいてはアジアに棲息する漆により微力を尽くす。



heart to heart - 地藏 jizo

変形6号 麻・漆／乾漆

舞踏家。東京藝術大学工芸科漆芸専攻卒業。漆芸の制作空間の潤いと香り、その奥底から響き渡る闇と光に魅せられ、漆黒から滲む光を身体表現において生かすべく、藝大在学中より舞台芸術を足場に活動。舞踏団「友恵しづねと白桃房」所属。アデレード・フェスティバル、国際交流基金主催東南アジアツアー、エディンバラ国際演劇祭等の招聘公演はじめソロ公演多数。美術や建築、音楽は邦楽からジャズ、ロック、現代音楽まで多彩なコラボレーションを展開。アートマネジメントを担った台湾・中国・日本の合作「朱文走鬼」が第五回台新芸術賞パフォーミングアーツ部門大賞受賞。2004年、JAPAの事務局長を拝命し現在に至る。2009年より理事。



heart to heart - 観音 kannon
変形30号 麻・漆／乾漆

齊藤 典彦 SAITO NORIHIKO

近くの里山を巡る中で感じた折々の記憶を描いています。
WLは Water Land = 水と大地 = 山水画、そして日本の
姿の謂いです。また岩絵具の美しさを引き出すため、近
年では使われることが少ない絹に描いています。



WL-s007 lily

6号 絹・岩絵具・顔料・金属泥・膠／日本画

- 1957 神奈川県生まれ
- 1985 東京藝術大学大学院博士後期課程満期退学
- 1989 第10回山種美術館賞展で優秀賞受賞
- 1993 現代絵画の一断面-「日本画」を越えて-(東京都美術館)
- 2007 齊藤典彦-きもちよくなされる-(平塚市美術館)
- 2008 タカシマヤ美術賞受賞
- 2009 Saito Norihiko (Dillon Gallery/ニューヨーク)
- 2016 「歩く詩人」ワーズワスと芭蕉展(柿衛文庫/伊丹)
- 2018 「和風屏山」第5回杭州・中国画ビエンナーレ(杭州/中国)
- 2022 東京国立近代美術館 MOMATコレクション展
- 現在 東京藝術大学美術学部日本画研究室 教授

WL-013

30号

絹・岩絵具・顔料・金属泥・膠／日本画



関 出 SEKI IZURU

奥松島嵯峨溪（海蝕崖）の情景です



海の月

4号 和紙・染料・膠／日本画

- 1948 神奈川県鎌倉市に生まれる
- 1972 東京藝術大学美術学部日本画卒業(卒業制作、大学美術館収蔵)
- 1974 東京藝術大学大学院日本画修了(サロン・ド・プランタン賞)
- 1975 創画会春季展賞(同'83・'91)、創画会賞(同'81)
- 1983 山種美術館賞展優秀賞(山種美術館収蔵)
- 1994 (財)日本航空協会「空の日芸術賞」派遣在外研修(スイス ～'95)
- 2001 東京藝術大学美術学部教授(～'16)、名誉教授(現在)
- 2009 東京藝術大学大学美術館館長(～'15、兼任)
- 2014 (公財)美術文化振興協会常務理事(現在)
- 2018 (公財)日本芸術協会理事(現在)



荒磯の景

30号 和紙・墨・岩絵具・膠／日本画

高木 聖雨 TAKAKI SEIU

古代文字に現代性を参酌させた。
絵画的な鑑賞をして頂きたい。

日本藝術院会員
日展理事
(公財)全国書美術振興会理事長
謙慎書道会理事長
大東文化大学名誉教授
中国西泠印社名誉副社長
ユネスコ登録推進協議会副会長
日本書道文化協会副会長
北京大学客員教授



游藝

67×35 cm 紙・墨



澹如

135×69 cm 紙·墨

高橋 幸彦 TAKAHASHI YUKIHIKO

余白を描く。

線は描かれてはいない。

余白を描き、その塗り残された形である。



声明

3号 雲肌麻紙／油彩

- 1947 福島県に生まれる
- 1972 安宅賞
- 1973 東京藝術大学油画科卒業 大橋賞
- 1975 東京藝術大学大学院修了
- 1978 個展(同'82・'86・'91・'93・'96・'98・
'00・'02~'09・'12・'17・'18・'22)



声明

30号 板(シナベニヤ)／油彩

滝沢 具幸 TAKIZAWA TOMOYUKI

作品は「水」をテーマにした最近の連作の二点です。

「水の景」

空を映して沈み鎮まるいつかの景

「水の景一月のある」

心の中に表れる水に映る月のイメージ

それは美しくも幽玄なる彼岸への憧憬



水の景

40.9×31.8 cm 岩絵具・プラチナ箔／日本画

- 1966 東京藝術大学大学院修了
- 1973 新制作協会新作家賞
- 1974 創画会賞(同'75) 遊星展(資生堂ギャラリー、~'83)
- 1985 山種美術館展優秀賞 地の会展結成(~'96)
- 1991 両洋の眼展(~'09)
- 1993 椿会展(資生堂ギャラリー、同'95・'97) 日本秀作美術展(~'03)
- 1997 滝沢具幸展(和光ホール) 地展(高島屋、~'01)
- 2000 劈頭展—滝沢具幸展(高島屋)
- 2010 MOA岡田茂吉賞展大賞
- 現在 創画会会員 武蔵野美術大学名誉教授



水の景一月のある

89×60 cm

岩絵具・金箔銀箔・金銀泥／日本画

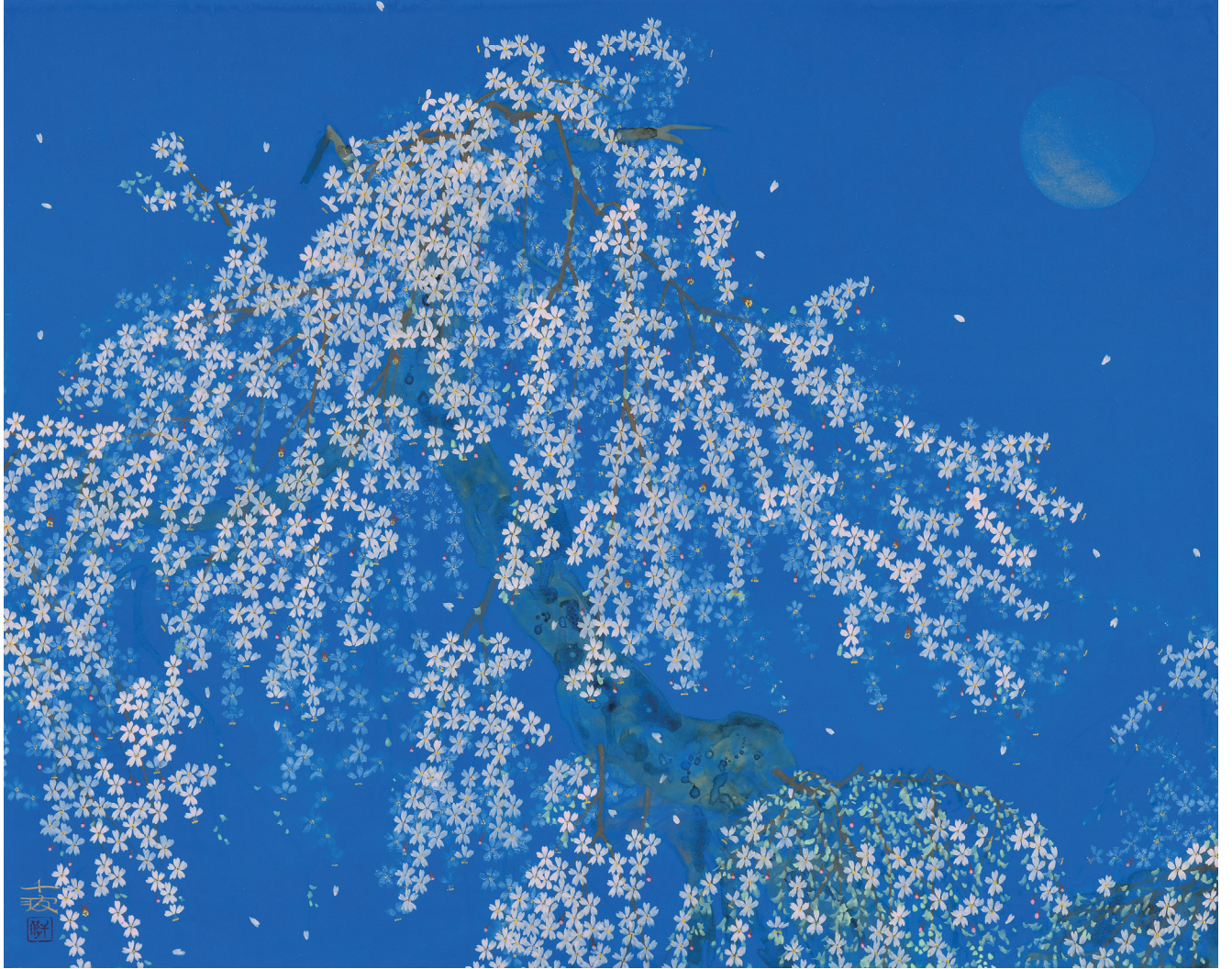
中島 千波 NAKAJIMA CHINAMI



桜花

6号 絹本・岩絵具／日本画

- 1945 日本画家の中島清之の三男として長野県上高井郡小布施町に生まれる
1970 神奈川県美術展(神奈川県立近代美術館)でK氏賞受賞
1971 東京藝術大学大学院修了
1977 春の院展奨励賞(同'78・'89・'91)
院展奨励賞(同'87・'88・'90・'91)
1979 第5回山種美術館賞展で優秀賞受賞
1985 第1回日本画裸婦大賞展で大賞受賞
2004 成田山東京別院深川不動堂内仏殿格天井画〈大日如来蓮池図〉奉納
2011 NHK-BSプレミアム 旅のチカラ「まぼろしの牡丹の山へ 旅人中島千波」出演
2015 高野山開創1200年記念「高野山祈りの美展」奥殿障壁画展示・奉納
2016 「中島千波とおもちゃシリーズ—画家のひみつ展」(渋谷区立松濤美術館)開催
現 在 東京藝術大学名誉教授 日本美術家連盟常任理事
おぶせミュージアム・中島千波館名誉館長



春の宵 御所桜

30号 紙本・岩絵具／日本画

平松 礼二 HIRAMATSU REIJI

日本とフランス、ヨーロッパとの美の交叉、
ジャポニスムの源流をたづね歩いている。
およそ40年になった。



モネの池・風

4号 紙本・岩絵具／日本画

- 1941 東京都に生まれる
- 1988 第1回MOA美術館岡田茂吉賞優秀賞('00大賞)
- 1989 第10回山種美術館賞展大賞受賞
- 1999 印象派・ジャポニスムへの旅 平松礼二展(全国14会場)
- 2000 月刊「文藝春秋」表紙画(〜'10)
- 2006 第57回中日文化賞(中日新聞社)
- 2013 平松礼二展(フランス・シヴェルニー印象派美術館、同'18、'24)
- 2014 平松礼二展(ドイツ・ベルリン国立アジア美術館)
- 2017 愛知大学名誉博士号(第1号)
- 2021 フランス芸術文化勲章シュバリエ受勲



溪流の桜

30号 絹本・墨・岩絵具／日本画

北條 正庸 HOJO MASATSUNE

季節が変わる時
あたたかい
風が吹いて来ると
雨のかおり(る)を感じる
描き終わった風景の
中にも
雨が降って来る
予感



風に寄す

SM 麻紙・顔料・顔彩・墨／日本画

- 1948 宇都宮生まれ
- 1972 武蔵野美術大学日本画専攻科卒業
- 1971 新制作協会日本画部から創画会に移行
- 1990 文化庁芸術家在外研修員としてイタリア・ローマに滞在(~'91)
- 1999 多摩美術大学教員となる
- 2008 美術文化振興協会によるライデン大学(オランダ)での「ジャパニーズ・アート・プログラム 墨絵講座」派遣講師



雨が来るまえに

62×135 cm 麻地キャンバス・顔料(岩絵具)・墨/日本画

宮田 亮平 MIYATA RYOHEI

こよなく愛するいるかちゃんを自分の心で形にしました。



シュプリングェン SS-3

W28×D12×H28 cm 銅・真鍮・金銀箔／鍛金

1945 新潟県佐渡市に藍堂三男として生まれる
1972 東京藝術大学 美術学部工芸科大学院 鍛金専攻 修了
2005 東京藝術大学学長(～'16年3月)
2016 文化庁長官(～'21年3月)
現在 文化功労者 日本藝術院会員 東京藝術大学名誉教授・顧問
文部科学省参与 日展理事長 現代工芸美術家協会常務理事

作歴

1970 東京藝術大学 安宅賞
1972 第11回「日本現代工芸美術展」大賞
2009 第41回「日展」内閣総理大臣賞
2012 第68回「日本芸術院賞」受賞 ほかに受賞多数

Familie

W71×D35×H65 cm アルミニウム・金箔・銀箔／鍛金



作品リスト

荒井 経	草虫図 牡丹(と)	45×22 cm	岩絵具・水彩・墨・和紙／日本画
	黒牡丹(一)	91×48.5 cm	岩絵具・水彩・墨・和紙／日本画
大津 英敏	南フランスの海	5号	キャンバス／油彩
	パリの宙を舞う	30号	キャンバス／油彩
小川 東洲	心似貪霜竹		
奥谷 博	長寿花開花	4号	キャンバス／油彩
	舞	25号	キャンバス／油彩
乙丸 哲延	ワインの丘	6号	キャンバス／油彩
	レザンドリー	30号	キャンバス／油彩
加賀谷 早苗	heart to heart - 地藏 jizo	変形6号	麻・漆／乾漆
	heart to heart - 観音 kannon	変形30号	麻・漆／乾漆
斉藤 典彦	WL-s007 lily	6号	絹・岩絵具・顔料・金属泥・膠／日本画
	WL-013	30号	絹・岩絵具・顔料・金属泥・膠／日本画
関 出	海の月	4号	和紙・染料・膠／日本画
	荒磯の景	30号	和紙・墨・岩絵具・膠／日本画
高木 聖雨	游藝	67×35 cm	紙・墨
	澹如	135×69 cm	紙・墨
高橋 幸彦	声明	3号	雲肌麻紙／油彩
	声明	30号	板(シナベニヤ)／油彩
滝沢 具幸	水の景	40.9×31.8 cm	岩絵具・プラチナ箔／日本画
	水の景一月のある	89×60 cm	岩絵具・金箔銀箔・金銀泥／日本画
中島 千波	桜花	6号	絹本・岩絵具／日本画
	春の宵 御所桜	30号	紙本・岩絵具／日本画
平松 礼二	モネの池・風	4号	紙本・岩絵具／日本画
	溪流の桜	30号	絹本・墨・岩絵具／日本画
北條 正庸	風に寄す	SM	麻地キャンバス・顔料(岩絵具)・墨／日本画
	雨が来るまえに	62×135 cm	麻紙・顔料・顔彩・墨／日本画
宮田 亮平	シュプリンゲン SS-3	W28×D12×H28 cm	銅・真鍮・金銀箔／鍛金
	Familie	W71×D35×H65 cm	アルミニウム・金箔・銀箔／鍛金

謝辞

本展開催にあたりご協力くださいましたご関係者の皆様に
心より感謝申し上げます。

JAPA 貢献展

～美術文化の国際振興に向けて～

JAPA Fundraising Exhibition

—For the International Promotion of Arts and Culture

発行 公益財団法人 美術文化振興協会(JAPA)有志

印刷 ニューカラー写真印刷株式会社

©2024 Volunteer of JAPA



MITSUKOSHI

日本橋本店

www.mitsukoshi.co.jp